

令和5年度 第2回江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議資料

【議事】

- (1) 令和6年度地方創生関係交付金申請予定事業について P 1
- (2) 江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議の在り方について P 2
- (3) 次期総合戦略の策定スケジュール（案）について P 5

【その他】

- (1) 第7次江別市総合計画について 【別冊資料】

令和6年2月15日
江別市企画政策部

令和6年度「デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)」申請予定事業一覧

No.	申請予定事業名	事業概要	総事業費(千円)
1	<p>学生お試し移住・定住促進プロジェクト</p> <p>【継続事業:5年目】</p>	<p>江別市内4大学の学生に、連携8自治体(江別市、芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町)の地域や企業の魅力を伝えることで、当該地域に移住就業させ、地方創生の実現を目指す事業。 実際に地域で暮らしながら参加するインターンシップや、優良な地域企業の掘り起こし、コーディネーター同席のもとで行う企業訪問などを中心に、学生の地域移住に対する心理的障壁を取り除き、移住・就業を後押しする。</p> <p>【5年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動プログラムの実施 ・移住体験型インターンシップの実施 ・地域企業訪問説明会の実施 など 	3,426
2	<p>若者「えべつ愛」育成プロジェクト～「関係人口」の創出・拡大を目指して～</p> <p>【継続事業:5年目】</p>	<p>市内大学生の「江別の認知度」を向上させ、「江別への愛着」を高めるため、大学生を対象に、江別に関する情報発信や、地域交流会、江別認知度向上バスツアーなどを通じて地域の様々な分野で活躍する方々と交流する機会をつくる。 こうした取組により、卒業転出後も江別市に関心を寄せてもらい、多様な江別市との関わりを持続させることで「関係人口」の創出・拡大を図る。</p> <p>【5年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流会の開催 ・市内4大学構内における江別PRブースの設置 ・えべつファンスマホサイトの運用 など 	5,500
3	<p>江別市就労支援プログラム事業 (江別まちなか仕事プラザ事業～女性と高齢者等の就労支援) (介護人材養成支援事業)</p> <p>【継続事業:5年目】</p>	<p>女性・シニアを中心とした潜在的労働力が、市内への就労に結びつくよう、市内大型商業施設内に就労相談、各種研修、企業との交流ができる総合型就労支援施設を設置する。 さらに、市内企業が人材活用の幅を広げられるよう、企業向け支援セミナー等も実施することで、求職者と雇用者の双方を支援し、地域で活躍できる人材の育成・確保を目指す。 介護分野では、介護業務未経験者を対象に、入門的研修を実施することで介護人材の育成を図り、市内介護事業者への就労支援を行うことで介護人材の確保を図っていく。</p> <p>【5年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生企業交流会などの開催 ・企業の採用力向上のためのセミナー開催 ・介護分野における入門的研修及び就労支援の実施 など 	37,787
4	<p>えべつ食のブランド海外展開促進事業</p> <p>【継続事業:5年目】</p>	<p>今後一層の拡大が見込まれる海外の食関連産業に関する需要を取り込むため、輸出に取り組む市内食関連事業者を支援し、地域における「海外から稼ぐ力」を創出する。</p> <p>【5年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外市場開拓等に要する事業への補助 ・海外バイヤーとの商談会の開催 ・海外販路開拓に向けた実践的ワークショップの開催 ・外国人向けPR動画等を活用したプロモーションの実施 	2,000
合 計			48,713

江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議の在り方について

1 本日の協議内容

- これまで、有識者会議の在り方に関する協議の中で、市民公募枠が設けられていないことから、次の任期を勘案しながら、市民公募枠を設けることが確認されたところ。
- また、そのほかにも有識者会議の在り方について協議が必要な点を整理して、適宜、協議を行っていくことが確認されている。
- 一方、この間、市の総合戦略の上位戦略となる国の総合戦略が「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に大きく改定されたことを受け、市の次期総合戦略においても、有識者会議の構成に留意しながら策定作業を進める必要が生じている。
- 本日は、上記事項を踏まえた有識者会議の在り方について協議を行うこととしたい。

2 検討経過

(1) 令和3年度第2回有識者会議（令和4年1月開催）

有識者会議に市民公募枠を設けるほか、会議の規模や任期など、会議体の在り方について、協議していくことが確認された。

(2) 令和4年度第1回有識者会議（令和4年8月開催）

江別市市民参加条例や国の通知などにに基づき、市民公募委員を選任する必要性があることのほか、今後、以下の4点について、継続的に協議していくことが確認された。

- ① 会議体の名称
- ② 会議体の規模
- ③ 委員の構成
- ④ 任期

(3) 令和5年第1回有識者会議（令和5年8月開催）

国は、総合戦略を抜本的に改定し、名称を「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に変更したため、市の総合戦略についても、どのような推進体制が望ましいか等、市の各担当部局において確認・協議中であることについての報告を受けた。

3 総合戦略に係る国・北海道の動向

【国の動向】

- ・ 国は、令和4年12月に、国が策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に見直し、デジタルの力を活用して社会課題の解決を目指す「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に改定した。（戦略期間：令和5年度から令和9年度までの5年間）
- ・ この改定に伴い、各自治体で策定する総合戦略も国の戦略内容を勘案して取り組むよう求めている。

【北海道の動向】

- ・ 北海道は、次期の北海道創生総合戦略の策定に向けて、策定作業を行っている。
- ・ 現時点においては、具体的な方向性が定まっておらず、次期の戦略期間も未定である。

4 検討事項

(1) 会議体の規模

現行の規模（12名程度）と同程度を想定している。

(2) 委員構成

以下の構成を基本に協議を進めることを想定している。

- ① 学識経験者
- ② 各分野（産・官・学・金・労・言）の有識者
- ③ （デジタル技術を活用した）まちづくりに精通している者
- ④ 市民公募委員

(3) 任期

委嘱の日から2年間または3年間を想定している。

(4) 名称

市民公募委員を加えることとなるため、「有識者会議」という名称を改める必要があると考えている。

〔 例：江別市総合戦略推進委員会
江別市地方創生推進委員会 など 〕

5 新たに協議が必要となった事項

有識者会議の再編成の時期

6 令和6年度の流れ（想定）

時期	内容
5月頃	現行の有識者会議を開催し、新たな会議体に関する最終的な協議・確認を行う。 （協議結果に基づき、有識者会議の再編成手続き（市民公募委員の募集を含む。）を行う。）
7月～8月頃	新たな会議体による会議を開催し、新たな総合戦略等に関する協議を行う。
9月～	令和6年度中に策定する新たな総合戦略に関する協議等を行うため、適宜、会議を開催する。

次期総合戦略の策定スケジュール（案）について

年 月		項 目
令和6年	6月	新たな会議体の設置等（市民公募委員の募集等）
	6月～7月	市民ワークショップ等の開催
	7月～9月	人口ビジョンの改定
	12月～1月	次期総合戦略（素案）の作成
令和7年	1月～2月	意見公募（パブリックコメント）の実施
	3月	次期総合戦略の策定